

千葉県知事 鈴木 栄治 様

睦沢町長 市原 武

平成22～25年度鳥獣被害防止総合対策交付金(鳥獣被害防止総合支援事業)で取得又は効用の増加した施設等の利用に関する改善計画について

平成22～25年度において鳥獣被害防止総合対策交付金で取得又は効用が増加した施設等について、当初事業実施計画の目的の達成が図られるよう、下記の改善計画を実施することとするので、報告します。

記

1 事業の導入及び取組の経過

イノシシによる農作物被害が深刻な状況にあることから侵入防止金網柵を導入することになりました。また、イノシシ捕獲用箱わなを設置し個体数の減少を図ることで効率的な被害防止対策を行います。

2 当初事業実施計画の目標が未達成である原因及び問題点

捕獲技術が向上し捕獲頭数は増加しているものの、高い繁殖率と生息範囲の拡大が目標の未達成である原因と考えられます。

3 施設等の利用の実績及び改善計画

別紙のとおり

4 改善方策

侵入防止金網柵を導入した耕地においては一定の効果が視られます。しかしながら、生息範囲の拡大により新たな地域で被害が発生しているのが現状です。

捕獲効率を上げるためにイノシシの生息状況の調査や捕獲用箱わなの設置場所を再考察し、被害軽減に向けた方策をとることとします。

5 改善計画を実施するための推進体制

平成26年度に設置した睦沢町鳥獣被害対策実施隊は、捕獲技術の高い猟友会員で構成する捕獲員と侵入防止柵の施工技術に優れた指導員がおり、被害防止対策を推進するにあたり柔軟に対応できる体制となっています。

鳥獣被害防止総合支援事業の評価報告(平成25年度報告)

陸沢町

- 被害防止計画の特徴等
陸沢町鳥獣被害防止計画の特徴としては、近年において著しく生息数の増えたイノシシ対策を中心に作成されている。その対策として防護と捕獲の両面から推進していく内容となっている。まず、イノシシによる農作物の被害や掘り起しによる被害が増加傾向にあることから、耕地に防護柵の設置整備を計画している。また、個体数を減らすため、わなを使用した捕獲と近隣の町と協力して銃器を使用した合同捕獲を実施した。
- 事業効果の発現状況
陸沢町、陸沢町有畜鳥獣対策協議会、猟友会で連携を図りイノシシの防除や捕獲に取り組んだ。これまで被害の多発していた地区に金網柵を整備し一定の被害軽減効果が出ているものの、周囲に新たな被害をもたらしている。こうした地域では草刈りや雑木を撤去し捕獲資材を導入して捕獲に成功している。しかしながら、更なる個体が出没している状況が続いている。
- 被害防止計画の目標達成状況
被害防止計画の被害金額である目標値58万円に対し実績値は大きく上回る。捕獲頭数は格段に増えているがイノシシによる被害が後を絶たないことから、捕獲頭数以上に生息数が増加し、生息場所が急速に拡大していることが予測される。

4 各事業実施地区における被害防止計画の達成状況

事業実施主体名 (協議会名)	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始	利用率・稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績						事業実施主体の評価	市町村の評価				
										被害金額		被害面積		達成率 (%)	実績値 (万円)			目標値 (ha)	イノシシ 7 アライグマ 0.6 ハビシ 0.6 93キ 7ナグマ 0	達成率 (%)	実績値 (ha)
										目標値 (万円)	実績値 (万円)	目標値 (ha)	実績値 (ha)								
陸沢町有畜鳥獣対策協議会	陸沢町	H23	イノシシ	個体数調査 鳥獣被害防止施設 設置	箱わなの導 入16基 くりわなの 導入19基 金網柵 7,143m	陸沢町有畜鳥 獣対策協議会	H24.3	100%	金網柵を設置した地帯は農作物の被害 総額に一定の効率がでている。また、箱 わなを使用した捕獲頭数も増加してい る。 しかしながら、生息頭数の増加が著し いためか、生息域の拡大による新たな被 害が報告されている。 よって事業効果としてはマイナスとなっ ている。	126	83	イノシシ 7 アライグマ 0.6 ハビシ 0.6 93キ 7ナグマ 0	-173	205	今回整備した金網柵によって、一 定の被害防除効果が見られる。ま た、導入した箱わなについても捕 獲実績をあげている。今後に対策 拡大する被害に対し、今後も対策 225を講じていかなければならぬ。	イノシシの生息環境を把握し対策 の効率化を図り、更なる被害防除や 捕獲体制を強化する必要がある。					
		H24	イノシシ	鳥獣被害防止施設	金網柵 795m		H25.3	100%		5	15		250	0							
		H25	イノシシ	個体数調査 鳥獣被害防止施設	箱わなの導 入 大型獣用15 基 金網柵 930m		H26.3	100%		0	0		100	0							

注:被害金額及び被害面積の目標欄については対象鳥獣及び目標値を記し、これに合わせて他の欄も記載する。

5 第三者の意見

コメント
平成25年度に導入した鳥獣被害防止施設である金網柵の設置地区はイノシシが耕地へ侵入することもなく、予想通りの実績をあげている。しかし、その耕地へ侵入出来ないがために周囲に行動範囲を広げ、新たな被害が発生しているようである。今後も継続して対策に取り組み着実な成果をあげていく必要がある。
また、個体数調整として箱わなを導入し効率の活用がされており、捕獲技術の向上も相まって捕獲頭数が増加する結果となったことは称賛に価する。
但し野生鳥獣対策は市町村を跨いだ広域的な取り組みがなされなければ解決は難しいのではないかと。

生長郡市猟友会 会長 相沢甲貴